



令和4年度施策運営目標の中間評価について

令和4年11月

関西広域連合

(評価について)

各事業において策定した施策運営目標に対して9月末現在の進捗状況(見込み)を把握し、次の基準により自己評価を行う。

【評価と基準】

- A 目標達成(目標達成済み)
- B ほぼ計画通りに進んでいる(目標達成に向けスケジュールどおりに進んでいる/目標の5割以上を達成済みなど)
- C 計画通りに進んでいない(想定したスケジュールどおり進んでいない/目標の達成が困難な見通しなど)

令和4年度各分野事務局等施策運営目標の中間評価について(総括)

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット(主な取組)	目標数値・アウトカム	評価		
				アウトプット	達成数値・アウトカム	
広域防災	1 大規模広域災害を想定した広域対応の推進	1 関西防災・減災プラン(感染症対策編(新型インフルエンザ等))の見直し	関西全体の大規模広域災害への対応力の向上	C	—	—
		2 災害時相互応援協定を締結している九都県市等と相互の訓練参加や情報交換	災害時における相互応援体制の構築及び災害対応能力の向上	B	—	—
		3 南海トラフ地震を想定した広域応援訓練、緊急物資円滑供給連携訓練	訓練満足度:85%以上	B	—	—
		4 関西における災害時の円滑な物資供給の実現に取り組むため、民間事業者等との連携強化を図り、「緊急物資円滑供給システム」の実効性を確保	ワークショップ満足度:85%以上	B	—	—
	2 防災・減災事業の推進	1 災害時帰宅支援ステーション事業の普及啓発、帰宅困難者対策訓練(図上)の実施	①協力店舗数:12,000店舗 ②訓練参加団体数:15団体	B B	A —	12,256 — 店舗
		2 防災担当職員向け基礎研修及び災害救助法等専門研修	研修理解度:85%以上	B	—	—
		3 防災イベント等への出展	出展ブースへの来場者数:900人	B	B	485人
		4 防災庁創設に向け、「防災庁」の必要性について国民的な理解を深めるため、防災イベントでのPRやセミナー等を開催	防災庁創設に関する、国、国民、関係機関等の理解深化	B	B	—

令和4年度各分野事務局等施策運営目標の中間評価について(総括)

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット(主な取組)	目標数値・アウトカム	評価		
				アウトプット	達成数値・アウトカム	
広域医療	1 「関西広域救急医療連携計画」の推進	1 関西広域救急医療連携計画推進委員会の開催	広域救急医療連携の充実	B	B	—
	2 広域救急医療体制の充実	1 ドクターヘリ運航事業の実施・支援	ドクターヘリレジストリへの参加基地病院数:6病院(対R3 1病院増)	B	—	—
		2 ドクターヘリ関係者会議を開催し、諸課題について調整・検討及び研究	円滑かつ効果的な広域救急医療体制の構築	B	B	—
		3 広域連合管内のドクターヘリ基地病院と連携し、OJT等の実践的な研修を実施	ドクターヘリ搭乗医師・看護師数:279名(対R3 7人増)	B	—	—
		4 フライトドクター及びフライトナースが参加するドクターヘリ基地病院交流・連絡会を開催し、研究発表、情報交換等を実施	連絡会議参加者数:28人	B	—	—
		5 ドクターヘリ普及・啓発イベントの実施	見学会アンケート満足度:80%以上	B	—	—
		6 近畿ブロック周産期医療広域連携検討会を開催し、広域連携の取組状況、ドクターヘリの運用等について情報共有	周産期医療の連携体制の充実	B	B	—
	3 災害時における広域医療体制の強化	1 CBRNE災害への対応に関するセミナーの実施	満足度:80%以上	B	—	—
		2 感染症対策に係る情報共有及び感染症担当者会議の実施	先進事例等の情報共有による取組の充実	B	B	—
		3 災害医療コーディネーター等に対する研修会の実施	研修満足度:80%以上	B	—	—
		4 近畿府県合同防災訓練等、広域的な災害医療訓練実施	連合管内参加DMAT数:30チーム	B	—	—
		5 特殊災害に係る体制構築に向けた検討、情報共有	特殊災害への対応力向上	B	—	—
		6 広域災害救急医療情報システム(EMIS)の入力訓練等の実施	通信訓練参加府県市:5府県市以上	B	—	—
	4 課題解決に向けた広域医療体制の構築	1 薬物乱用防止対策に係る研修会、担当者的会の実施	担当者的会参加者の満足度:80%以上	B	—	—
		2 広域医療連携に係る調査及び広報	担当者的会参加者の満足度:80%以上	B	—	—

令和4年度各分野事務局等施策運営目標の中間評価について(総括)

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット(主な取組)	目標数値・アウトカム	評価		
				アウトプット	達成数値・アウトカム	
広域観光・文化・スポーツ振興(観光振興)	1 多様な広域観光の展開による関西への誘客	1 観光振興に係るノウハウや知見、成功事例等を共有し、テーマを通じて関西の魅力を発信	訪日検討層の訪関西意向率:41.1%	B	—	—
	2 戦略的なプロモーションの展開	1 訪日観光客の増加が期待できる市場に対して観光プロモーションを実施し、関西への誘客を図るための情報を発信	官民連携による海外メディア招請及び情報発信、Web商談会等への出展回数:3回	B	—	—
	3 外国人観光客の受入を拡大し、周遊力・滞在力を高める観光基盤の整備	1 通訳案内士の登録業務の実施及び人材育成のためスキルアップ研修の実施	・通訳案内士研修受講者数:200人 ・習熟度:80%以上	B	—	—
		2 新たな周遊ルートの作成や受入環境の整備の実施	広域観光・周遊ルートの商品作成数:年2商品	B	—	—
	4 関西の強みを活かした文化・スポーツ観光の展開	1 情報発信サイト「The KANSAI Guide」により関西の見所をタイムリーに発信し、新たな観光需要を創出	「The KANSAI Guide」の ・年間訪問者数:65万人 ・年間閲覧数:100万ビュー	B	—	—
	5 官民が一体となった広域連携DMOの取組の推進	1 官民一体で設立した広域観光DMO「関西観光本部」による観光プロモーション等の戦略的実施	官民連携による海外メディア招請及び情報発信、Web商談会等への出展回数:3回	B	—	—
広域観光・文化・スポーツ振興(文化振興)	6 関西文化の振興と国内外への魅力発信	1 テーマで古墳を結んだ周遊コースを造成し、まんが、イラスト等を活用したPRを実施	5コース作成	B	—	—
		2 関西エリアの文化芸術に関する構成府県市の支援策や相談窓口等を関西広域連合のホームページで発信	「関西の文化芸術関係者に向けた支援や相談窓口について」ページビュー数:2,000ビュー以上	B	C	405ビュー
	7 連携交流による関西文化の一層の向上	1 ・歴史文化遺産をテーマに文化庁地域文化創生本部等と連携したフォーラムの開催 ・世界遺産・日本遺産等の一体的な情報発信 等	来場者の世界遺産への関心向上:80%以上	B	—	—
	8 関西文化の次世代継承	1 関西地域の文化団体や指導者等と連携し、次代を担う子どもたちが伝統文化・生活文化を体験できる教室を開催	オンライン教室の参加者数及び動画の視聴者数:800人以上	B	—	—
	9 産学官連携による関西文化の創造	1 ・文化庁の関西本格移転や大阪・関西万博等に向け、関西からの文化発信事業を検討する「はなやか関西・文化戦略会議」を開催 ・産学官連携プラットフォームを創設し、事業を検討	プラットフォームの企画による事業を実施	B	A	2事業
		2 文化庁移転機運を醸成するイベント等を活用し関西経済連合会と連携した文化と産業の融合につながる交流イベントの実施	来場者:200人以上	B	—	—
10 文化庁移転等を契機とした関西文化の振興	1 関西文化の情報を一元的に扱うポータルサイトを開発し、サイト利用情報等のビックデータ及びAIの活用による利用者の好みに応じた文化情報、モデルルートを提案	サイトのページビュー数:120万以上	B	—	—	

令和4年度各分野事務局等施策運営目標の中間評価について(総括)

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット(主な取組)	目標数値・アウトカム	評価		
				アウトプット	達成数値・アウトカム	
広域観光・文化・スポーツ振興 (スポーツ振興)	1 「ワールドマスターズゲームズ2021関西」の開催支援	1 「ワールドマスターズゲームズ2021関西」をはじめとした生涯スポーツ大会への参加を勧奨するため、スポーツ活動への参加を促すキャンペーン等を実施	WMG2021関西認知度:全国25% 近畿50%	—	—	—
		2 ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会が実施する「インターカレッジコンペティション2022」の支援	参加チーム:25チーム以上	—	B	—
		3 運動習慣の促進と定着を図るため、デジタル技術を活用したウォーキングイベントの開催	参加人数:2,000人以上	A	A	5,314人
		4 「関西マスターズゲームズ」の開催	参加人数 ・広域大会:1,000人以上 ・冠称大会:50,000人以上	B	—	—
	2 「生涯スポーツ先進地域関西」の実現	1 関西圏域内の総合型地域スポーツクラブ等の小学生を対象としたスポーツ交流大会の実施 構成府県市開催の「スポーツ障害予防講習会」や「他分野リンクイベント」を「冠称事業」として実施	・スポーツ交流大会への全構成府県市から選手参加	B	—	—
			・スポーツ障害予防講習会等参加者数:500人以上	B	—	—
		2 スポーツを通じた女性の活躍を促進するため、スポーツイベント等の企画や参加形態、情報発信の充実などの方策を検討	女性のスポーツに特化したホームページの開設	B	—	—
		3 国際競技大会やスポーツイベント等の情報発信及びホームページによる障害者スポーツに関する情報発信	ホームページアクセス数:1,000ビュー	B	—	—
		4 障害者競技種目の体験会を大型商業施設などPR効果の高い会場で開催	参加者の満足度:85%以上	B	—	—
	5 スポーツ振興に積極的な企業やスポーツを通じて健康経営に積極的に取り組む企業等に対する表彰を実施	全構成府県市から応募	B	—	—	
	3 「スポーツの聖地関西」の実現	1 世界パラ陸上に向けて、アスリート育成練習会、障害者スポーツ体験会を開催	参加者満足度:80%以上	B	—	—
		2 関西圏域内で開催される国際競技大会や全国大会、スポーツイベントなどを掲載したホームページを運用し、指導者・ボランティア情報やスポーツツーリズム情報を一体的に発信	ホームページアクセス数:50,000ビュー	B	—	—
		3 パラパワーリフティング及びボッチャ、パラ水泳の育成練習会の開催	参加者満足度:85%以上	B	—	—
		4 普遍的なコーチング技術について、国際競技大会等で実績のある指導者を招聘し、関西圏域内のスポーツ指導者に向けた講習会を開催	参加者の理解度・満足度:80%以上	B	—	—
	4 「スポーツツーリズム先進地域関西」の実現	1 関西圏域内で開催される国際競技大会や全国大会、スポーツイベントなどを掲載したホームページを運用し、指導者・ボランティア情報やスポーツツーリズム情報を一体的に発信	ホームページアクセス数:50,000ビュー	B	—	—
		2 周遊プログラムとして開発したサイクリングルートを活用したイベントを開催	参加者数:500人以上	B	—	—

令和4年度各分野事務局等施策運営目標の中間評価について(総括)

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット(主な取組)	目標数値・アウトカム	評価		
				アウトプット	達成数値・アウトカム	
広域観光・文化・スポーツ振興(ジオパーク推進)	1 多様な広域観光の展開による関西への誘客	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外に向けた観光プロモーションによるPR ・ジオパークを巡る周遊観光促進 ・ジオパークに通じた人材の育成 	ジオパーク拠点施設への入込客数:53万人以上	B	B	35万人
広域産業振興	1 関西の優位性を活かしたイノベーション創出環境・機能の強化	1 スタートアップデータベースへの登録、国内イベントや海外メディアでの情報発信、情報発信イベントの開催、ポータルサイトの運営、情報発信等の実施	・スタートアップDBへの登録:50社	B	B	20社
		2 「Bio Japan」等へのブース出展等を行い、関西のポテンシャル等を発信	Bio Japanマッチング件数:参加企業数×6倍以上	B	—	—
		3 ものづくり企業の医療機器分野への参入を支援するための相談事業の実施	相談件数:250件以上	B	B	126件
		4 「グリーン・イノベーション研究成果企業化促進フォーラム」の実施	参加者数:200人以上 マッチング件数:フォーラム発表数×7.4倍以上	B	—	—
	2 高付加価値化による中堅・中小企業等の成長支援	1 公設試験研究機関の一体的な運用にむけた取組や入口から出口までシームレスに企業を支援する広域的プラットフォームの構築	産業技術支援フェア参加者数:250人以上 「かんさいラボサーチ」アクセス数:23,000件以上	B	B	— 11,512件
		2 プラスチックに代わる素材や製品の開発に向けた情報提供や研究開発支援、新たに創出された製品の販路拡大支援等	展示商談会等の総来場者数:1,000人以上	B	—	—
		3 支援情報等ニューノーマルな時代に必要な情報を発信	Webセミナーの視聴回数:1,000回以上	B	—	—
	3 個性豊かな地域魅力を活かした地域経済の活性化	1 デザインや実用性に優れた関西の工業製品等の産業資源をはじめとする関西の魅力やポテンシャルを国内外に発信	【海外プロモーション】リアル展示販売会場における関西広域連合ブースへの総来場者数:1000人以上 【CRAFT14】ホームページアクセス件数:4,300件以上	B	C	— 1,218件
	4 関西を支える人材の確保・育成	1 人材の確保・育成策について検討する人材検討会を運営するとともに、域内の大学、企業等の取組で参考となる情報を「from NOW ON KANSAI」として発信	産業人材 ホームページ アクセス件数:2,600件以上	B	B	1,228件

令和4年度各分野事務局等施策運営目標の中間評価について(総括)

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット(主な取組)	目標数値・アウトカム	評価			
				アウトプット	達成数値・アウトカム		
広域産業振興 (農林水産部)	1 地産地消運動の推進による域内消費拡大	1 「おいしい! KANSAI応援企業」の登録推進、紹介ページ作成、産品販売イベント等の実施	登録企業数:177社 (対前年度比113%)	B	B	161社	
		2 出前授業の実施、学校給食への関西広域連合域内特産農林水産物の提供	域内特産農林水産物提供学校:28校	A	A	32校	
		3 府県域を超えたイベント支援等による直売所間交流の促進	直売所間交流回数:10回	C	C	0回	
	2 国内外への農林水産物の販路拡大	1 事業者向けの海外輸出セミナーを開催し、輸出に向けての機運を醸成、各種情報を発信	参加者アンケートで「役に立った」と回答した割合:80%	↘ B	—	—	
		2 首都圏等の大型量販店や外食産業等の食品関係バイヤーと域内事業者とのWEB型マッチング商談会を開催	・満足度:80% ・成約率:10%	↘ B	—	—	
	3 都市との交流による農山漁村の活性化と多面的機能の保全	1 「都市農村交流サイト」の運営と情報発信の強化	民間旅行サイトへの掲載施設数:100件	↘ B	—	—	
		2 都市農村交流に関するアドバイザー人材バンクを構築し、要請に応じて派遣 ・都市農村交流の優良事例の発表や、地域課題の解決に向けた現地見学と意見交換を行う現地検討会の開催 ・都市農村交流の優良事例をホームページで公開、広く発信・周知	現地検討会への参加人数:40人	↘ B	—	—	
	企画調整 (イノベーション推進)	1 産学官連携によるイノベーションの強化・推進	1 関西健康・医療創生会議における健康・医療データの収集・連携・利活用の推進及びこれまでの新型コロナウイルス感染症対策の検証と今後の防止策の検討、啓発	新型コロナウイルス感染症等に関するシンポジウム・セミナーへの参加人数:年1,000人	↘ B	—	—

令和4年度各分野事務局等施策運営目標の中間評価について(総括)

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット(主な取組)	目標数値・アウトカム	評価			
				アウトプット	達成数値・アウトカム		
広域環境保全	1 地球温暖化対策	1 「関西脱炭素アクションポスター」を作成・配布するとともに、様々な分野において、住民、事業者、経済団体等とも連携し、多様な主体が一堂に会し交流することができる「関西脱炭素フォーラム」の開催 ・関西エコオフィス運動を広く展開するため、エコオフィス宣言事業所を募集するとともに、優れた取組事例をホームページで紹介	エコオフィス宣言新規宣言事業所数:20事業所以上	B	B	19事業所	
		2 ・次世代自動車の普及啓発の実施 ・効果的な施策推進を実施するための情報収集及び意見交換の実施	「次世代自動車への関心が高まった」回答率:80%以上	B	B	—	
		3 地域資源を活用した先進事例等の情報共有、地域における再生可能エネルギー導入の担い手となる人材育成のため研修会を開催	研修会等参加者の再エネ導入への意欲向上度:90%以上	B	B	—	
	2 自然共生型社会づくり(生物多様性の保全)	1 ・関西の活かしたい自然エリアの普及・啓発のためのモデルコースの作成及び公表 ・エコツアー体験学習の開催	エコツアーモデルコースの作成:6コース	B	—	—	
		2 ・関西地域カワウ広域管理計画(第3次)に基づき、生息動向等調査実施、対策検証事業の広域展開・計画作成支援の実施 ・関西地域カワウ広域管理計画(第4次)の策定	被害対策に取り組む構成府県:6府県	B	A	6府県	
		3 ニホンジカや外来獣対策の推進のため、委託側監督員の監理能力向上講座の実施、受託者育成テキストの更新、市町村主催の捕獲従事者講習会のテキスト作成等を実施	ニホンジカや外来獣等対策に関する理解が深まったとする講座参加者の割合:90%以上	B	—	—	
	3 循環型社会づくり(資源循環の推進)	1 ・マイボトルスポットMAPの登録店舗等の情報更新、WEBサイトの管理及びマイボトルの利用促進に資する啓発の実施 ・プラスチックごみ及び食品ロス削減等について、住民・団体・企業等と連携しシンポジウムを開催するなど3R等の取組発信	マイボトルスポットMAP新規登録数:50以上 (10月の3R推進月間に集中して取組)	B	B	8	
		4 持続可能な社会を担う子育て	1 ・幼児期の環境学習の指導者を育成するための研修会等実施 ・地域特性を活かした環境学習プログラム等を通じて交流型環境学習事業実施 ・環境保全活動と金融とのつながりに関するオンラインセミナー実施	理解が深まったとする参加者割合:90%以上	B	—	—
	企画調整(プラスチック対策)	1 プラスチック対策の推進	1 ・プラスチック代替品の社会実装に向けたモデル事業実施 ・プラスチックごみ散乱状況推計モデルを活用した実態把握、対策の検討及び評価を行うための利活用マニュアルの作成 ・プラットフォームの運営による関係各主体と課題の情報共有及びプラスチックごみ抑制に向けた連携・協働のための意見交換等	プラットフォームで共有した情報を有益と回答した参加者:6割以上	B	—	—
	企画調整(エネルギー政策推進)	1 エネルギー政策の推進	1 ・関西水素サプライチェーン構想実現プラットフォームを開催し、産官学が連携して、課題の共有や解決策、具体的な水素実装の取組みを検討 ・エネルギーに関する構成府県市間の情報共有、国への提案等	交流会の累計参加者数:80人(交流会:計5回)	A	A	140人

令和4年度各分野事務局等施策運営目標の中間評価について(総括)

分野事務局等	施策運営目標	アウトプット(主な取組)	目標数値・アウトカム	評価		
				アウトプット	達成数値・アウトカム	
企画調整 (広域インフラ)	1 広域交通インフラ機能強化、整備促進	1 道路や空港・港湾、リニア中央新幹線等について、国への要望や建設促進大会等を実施	広域インフラ整備の推進	B	B	—
資格試験・免許	1 資格試験、免許事務の着実な推進	1 試験委員との密な連携のもと問題チェックを強化	出題ミスの件数:0	B	B	ミス件数:0
		2 免許申請に対して正確かつ迅速な免許等の交付、非行免許所有者に対する厳正な対応と 准看護師への再教育研修の適正な実施	免許交付処理の標準処理期間の維持 :30日以内	B	B	30日以内 を維持
広域職員研修	1 幅広い視野を有する職員の養成及び業務執行能力の向上 2 構成団体間の相互理解及び人的ネットワークの活用 3 効率的な研修の拡大	1 関西における共通課題をテーマとした政策形成能力研修を実施	受講者の理解度:90%以上	B	—	—
		2 研修本会場と他会場をインターネットで結んだ「WEB型研修」の実施	・WEB型研修実施数:5研修 ・受講者の理解度:90%以上	B	B	16研修 —
地方分権改革推進	1 分権型社会の実現に向けた効果的取組の推進	1 国の事務・権限の移譲に向けて関係府省に対し、地方分権改革に関する提案募集等による提案・協議の実施 ・広域連合設立後の社会情勢の変化を踏まえ、地方分権や国土構造に関する有識者の執筆による提言・意見集を編纂し、提言・意見を踏まえた取組の検討を実施	・提案募集の実現数:前年度以上 ・有識者提言・意見集の編纂 ・有識者の提言・意見を踏まえた取組の次期広域計画への反映	B	B	—
		2 政府機関等の地方移転及び機能向上を推進 ・政府機関と構成団体等の連携事業について情報共有 ・政府機関等の移転の進捗状況等の情報発信	・政府関係機関を含めた複数の団体の連携促進 ・政府機関移転に関する取組の認知度向上	B	B	—
		3 近畿市長会、近畿府県町村会をはじめ管内の市町村代表者等との意見交換を実施	・意見交換会の実施 ・市町村への情報提供件数:12件	B	B	6件
	2 琵琶湖・淀川における流域ガバナンスの向上に向けた取組の推進	琵琶湖・淀川流域対策に係る研究会の各部会(リスクファイナンス部会・水源保全部会)からの報告書について、連絡会議での議論を踏まえ、 【リスクファイナンス】 昨年度にとりまとめられた連絡会議報告書等を国関係機関や大学等の研究機関に情報提供・提案 【水源保全】 府県市で実施している水循環に関する施策の調査・共有や既往の研究やデータの調査・共有を行うとともに、流域の一般住民向けにシンポジウム等の開催を検討	【リスクファイナンス】 流域での共助の必要性の発信、国や大学研究機関等との連携の可能性の模索 【水源保全】 流域の水循環の重要性についての認識の共有。流域内の一般住民への流域連携の機運の醸成	B	B	—
企画管理	1 官民連携の推進	1 万博開催の効果を関西全域に波及させるため、連絡会議を開催 ・「関西女性活躍推進フォーラム」、「関西SDGsプラットフォーム」の設置・運営	関西における様々な課題への対応と官民連携の取組の推進等	B	B	—
	2 情報発信の推進	1 ホームページ、メールマガジン、フェイスブック、ツイッターを活用した情報発信、多様な広報媒体の活用、イベント等におけるPR活動の実施	①ホームページ閲覧数:2,500,000ビュー ②メールマガジン登録者数:4,800人 ③フェイスブックフォロワー数:940人 ④ツイッター閲覧数:4,000件	B	B	1,138,701 ビュー 4,913人 903人 54,024件